



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月30日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2540 URL <https://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田中 英雄
 問合せ先責任者（役職名） 取締役上席執行役員 経営企画部長（氏名） 井川 明（TEL）03-3462-8138
 半期報告書提出予定日 2025年10月31日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	4,679	△0.7	126	77.8	470	48.1	297	24.9
2025年3月期中間期	4,710	△4.2	71	△53.9	317	△24.3	238	△15.5

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	21.47	—
2025年3月期中間期	17.20	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	55,670	47,564	85.4
2025年3月期	53,518	46,062	86.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 47,564百万円 2025年3月期 46,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	45.00	45.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	45.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,630	△3.9	140	9.1	760	21.3	840	23.6	60.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	16,500,000株	2025年3月期	16,500,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,636,956株	2025年3月期	2,648,345株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	13,857,156株	2025年3月期中間期	13,842,268株

(注) 当社は「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期（中間期）決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）におけるわが国経済は、緩やかに回復しており、景気の先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が期待されるものの、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクに留意が必要なものに加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響もわが国の景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、経営理念「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」の下、事業ビジョン「すこやかでより良い時間を願う人々を応援する」に基づき、中期経営計画（2022年4月～2027年3月）において、「次の100年に向けた成長投資と持続的成長基盤の確立」を基本戦略と定め、「養命酒」及び酒類・食品の卸売販売を中心とする既存事業の収益力強化（深化）と、これまで取り組んできた「くらすわ」ブランドを中心とした新たな事業基盤の構築（探索）を同時に行う「両利きの経営」を推進し、収益性を確保しつつ成長投資を行い、新たな企業価値の創造に取り組んでおります。

当中間会計期間の業績は、くらすわ関連事業が伸長したものの、「養命酒」が前年を下回ったことにより売上高は4,679百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は国内「養命酒」の販促活動の見直しにより126百万円（前年同期比77.8%増）、経常利益は470百万円（前年同期比48.1%増）、中間純利益は297百万円（前年同期比24.9%増）となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

なお、当中間会計期間より、従来「くらすわ関連事業」に含めていた外販（他社チャネル販売）を、組織の見直しに伴い「養命酒関連事業」の「酒類・食品」に表示方法を変更しております。これに伴い前年同期比については、前年同期の実績値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

<養命酒関連事業>

国内「養命酒」については、新聞及びWeb等の広告を実施したほか、お客様とのダイレクトコミュニケーションを重視し、展示会等での接点強化を実施しました。また、卸店やドラッグストア等主要販売チャネルである小売店と協働して陳列強化等の店頭販促に取り組んだものの、物価上昇による消費行動への影響等の要因により、売上高は3,166百万円（前年同期比7.5%減）となりました。酒類・食品については、465百万円（前年同期比6.7%増）となりました。海外（海外「養命酒」を含む国外販売）については、「養命酒」の売上が前年を下回ったことにより、86百万円（前年同期比36.3%減）となり、不動産賃貸・太陽光発電については、193百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

以上により、養命酒関連事業の売上高は3,911百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

ダイレクトコミュニケーションの強化のため、2025年10月31日に工場見学コースをリニューアルし、「養命酒ミュージアム駒ヶ根」とするほか、11月4日に東京・渋谷の本店に、ビジネスパーソンをメインターゲットとした体験型ポップアップストア「養命酒 養生テラスSHIBUYA」をオープンする予定です。

<くらすわ関連事業>

店舗は、昨年10月の「くらすわの森」のグランドオープン、昨年11月からの都内ベーカリーの新規出店等により、計画には届かなかったものの、売上が伸長しました。通信販売は、「五養粥」、「幸健生彩DX」が売上に寄与し、堅調に推移しました。

以上により、くらすわ関連事業の売上高は768百万円（前年同期比46.4%増）となりました。

「くらすわの森」は、10月3日にグランドオープン1周年を迎え、記念イベント等を開催いたしました。引き続き、“すこやかな体験”の場として魅力を高めてまいります。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ2,151百万円増加し、55,670百万円となりました。これは主に有形固定資産及び無形固定資産が減価償却等により410百万円減少した一方で、投資有価証券に含まれる保有株式が時価評価等により2,582百万円増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ649百万円増加し、8,106百万円となりました。これは主に固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が788百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ1,502百万円増加し、47,564百万円となりました。これは主に利益剰余金が中間純利益297百万円の計上及び配当金626百万円の支払いにより329百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が1,805百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ89百万円減少し、2,961百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、654百万円の収入（前年同期は420百万円の支出）となりました。これは主に税引前中間純利益401百万円、減価償却費410百万円等の増加要因と、売上債権の増加額243百万円等の減少要因によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、118百万円の支出（前年同期比88.2%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出117百万円等の減少要因によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、625百万円の支出（前年同期比0.6%増）となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の業績予想につきましては、2025年5月13日付「2025年3月期 決算短信」において公表した業績予想を修正しております。詳細は、2025年10月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,710,818	6,721,298
売掛金	2,072,423	2,315,980
有価証券	—	993,590
商品及び製品	611,696	633,749
仕掛品	143,265	170,766
原材料及び貯蔵品	1,135,552	1,160,315
その他	499,191	207,390
流動資産合計	10,172,947	12,203,089
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,392,220	7,161,047
その他（純額）	4,790,421	4,630,166
有形固定資産合計	12,182,641	11,791,213
無形固定資産	125,359	106,508
投資その他の資産		
投資有価証券	24,834,328	26,449,272
長期預金	5,200,000	4,100,000
その他	1,010,442	1,027,098
貸倒引当金	△6,740	△6,740
投資その他の資産合計	31,038,031	31,569,631
固定資産合計	43,346,032	43,467,353
資産合計	53,518,979	55,670,442
負債の部		
流動負債		
買掛金	173,575	180,177
未払法人税等	49,858	87,531
賞与引当金	190,689	208,767
その他	841,068	947,563
流動負債合計	1,255,191	1,424,040
固定負債		
役員退職慰労引当金	30,000	—
その他	6,171,606	6,682,030
固定負債合計	6,201,606	6,682,030
負債合計	7,456,797	8,106,070

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	760,741	760,741
利益剰余金	39,209,239	38,880,170
自己株式	△4,785,046	△4,758,808
株主資本合計	36,834,934	36,532,103
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,227,248	11,032,268
評価・換算差額等合計	9,227,248	11,032,268
純資産合計	46,062,182	47,564,372
負債純資産合計	53,518,979	55,670,442

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,710,751	4,679,935
売上原価	1,941,799	2,124,017
売上総利益	2,768,951	2,555,918
販売費及び一般管理費	2,697,790	2,429,360
営業利益	71,161	126,558
営業外収益		
受取利息	26,827	33,918
受取配当金	227,797	314,113
その他	8,536	14,173
営業外収益合計	263,161	362,206
営業外費用		
支払利息	14,004	17,703
その他	2,900	1,032
営業外費用合計	16,904	18,736
経常利益	317,418	470,028
特別利益		
固定資産売却益	—	1,450
投資有価証券売却益	64,944	—
収用補償金	736	—
特別利益合計	65,681	1,450
特別損失		
固定資産売却損	—	1,506
固定資産除却損	63,870	1,820
減損損失	—	66,521
特別損失合計	63,870	69,847
税引前中間純利益	319,229	401,630
法人税、住民税及び事業税	70,000	119,000
法人税等調整額	11,110	△14,883
法人税等合計	81,110	104,116
中間純利益	238,119	297,514

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	319,229	401,630
減価償却費	268,508	410,775
減損損失	—	66,521
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,999	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,393	18,078
受取利息及び受取配当金	△254,625	△348,032
支払利息	14,004	17,703
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△89
収用補償金	△736	—
固定資産除却損	63,870	1,820
投資有価証券売却損益(△は益)	△64,925	—
売上債権の増減額(△は増加)	△140,819	△243,556
棚卸資産の増減額(△は増加)	△104,730	△74,316
仕入債務の増減額(△は減少)	52,872	6,602
未払費用の増減額(△は減少)	△1,277	△10,614
未払又は未収消費税等の増減額	△335,578	596,310
その他	△322,188	△421,697
小計	△502,003	421,135
利息及び配当金の受取額	255,026	343,571
利息の支払額	△24,085	△27,446
収用補償金の受取額	2,058	—
法人税等の支払額	△151,387	△82,985
営業活動によるキャッシュ・フロー	△420,391	654,274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,100,000	—
定期預金の払戻による収入	1,100,000	—
有価証券の償還による収入	500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,593,361	△117,311
有形固定資産の売却による収入	—	1,884
無形固定資産の取得による支出	△8,140	△6,696
投資有価証券の取得による支出	△95	△99
投資有価証券の売却による収入	95,644	—
貸付金の回収による収入	—	4,500
その他	—	△636
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,005,953	△118,359
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600,000	600,000
短期借入金の返済による支出	△600,000	△600,000
自己株式の取得による支出	△149,591	△853
自己株式の売却による収入	149,168	—
配当金の支払額	△620,852	△624,248
その他	△461	△461
財務活動によるキャッシュ・フロー	△621,736	△625,563
現金及び現金同等物に係る換算差額	△135	127
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,048,216	△89,519
現金及び現金同等物の期首残高	4,394,876	3,050,818
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,346,659	2,961,298

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	養命酒 関連事業	くらすわ 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,039,181	525,022	4,564,203	—	4,564,203
その他の収益	146,547	—	146,547	—	146,547
外部顧客への売上高	4,185,728	525,022	4,710,751	—	4,710,751
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,185,728	525,022	4,710,751	—	4,710,751
セグメント利益又は損失(△)	1,101,410	△227,215	874,195	△803,034	71,161

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△803,034千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間 損益計算書 計上額 (注) 2
	養命酒 関連事業	くらすわ 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,762,378	768,743	4,531,121	—	4,531,121
その他の収益	148,814	—	148,814	—	148,814
外部顧客への売上高	3,911,192	768,743	4,679,935	—	4,679,935
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,911,192	768,743	4,679,935	—	4,679,935
セグメント利益又は損失(△)	1,318,400	△378,788	939,611	△813,053	126,558

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△813,053千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間会計期間より、従来「くらすわ関連事業」に含めていた外販（他社チャネル販売）を、組織の見直しに伴い「養命酒関連事業」の「酒類・食品」に表示方法を変更しております。

なお、前中間会計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。